

農 業

◎農 家 數

昭和十八年八月一日現在ニ依ル本縣總農家數ハ132,622戸ニシテ前年同期ニ比スレバ1,222戸ノ増加ヲ示シ昭和十八年末調査ノ總戸數ノ51%クニ当ル而シテ之レヲ經營別ニ見レバ農業ノミヨ管△專業農家ハ本年農家總戸數ノ28%ニシテ前年同期ニ比スレバ2,332戸ノ減少ヲ示セリ之レ即チ現下重要産業部面ヘノ転出若シノハ應徴等ノ關係ヨリシテ漸減ノ傾向ニアリ。次ニ農業ヲ主トスル兼業農家(第一兼業農家)ハ本年總農家戸數ノ49%5ニシテ前年ニ比スレバ2,207戸ノ増加ヲ見タリ。是現下諸般ノ經濟事情ノ影響及其ノ農業經營規模ノ現状ヨリシテ他ニ何等カノ産業ヲ兼ヌルタメニシテ例年逸増ノ傾向ヲ示セリ又農業ヲ從トスル兼業農家(第二兼業農家)ニ付イテ見ルモ全農家ノ22%5ニシテ前年ニ比シ1,347戸ノ増加ヲ示セルハ從來農業ヨリ離脱セルモノガ最近ノ生活關係ヨリシテ再ビ片手間ニ農耕ニ從事スルノ傾向ヲ馴致スルニ至レルモノト認メラル尚自小作別ニ之ヲ見レバ自作農家22%5自作兼小作農家22%4小作兼自作農家23%3及土地ヲ耕作セサル農家0.2%(家畜家禽等ヲ飼養シ土地ヲ全然耕作セサルモノ)ナリ。

◎耕地面積

昭和十八年八月一日現在調査ノ農業者ノ總經營耕地面積ハ94,970町ノ反ニシテ前年同期ニ比スレバ1,546町6反ノ減ヲ示セリ。而シテ一戸当平均經營耕地面積ハ7反2畝歩ナリ尚コノ農業者ノ總經營耕地面積ニ付キ其ノ田畑別構成ト自小作別構成トヲ見ルニ田ノ68%ニ對シ畑ハ32%自作地ノ55%ニ對シ小作地45%ナリ。次ニ耕地ノ動態ニ付キ之ヲ見レバ昭和十七年八月一日ヨリ昭和十八年七月三十一日迄一年間ニ於テル増加ハ3,18町2反減少ハ2,12町7反ニシテ全増加及減少ノ原因別ヲ擧グレバ次ノ如シ

増加原因別		減少原因別	
總數	318町2反	總數	212町7反
林地ヲ開墾シテ	164.8	住宅地トナリテ	21.8
水害地ヲ復旧シテ	17.8	水害ノ為荒地トナリテ	16.4
原野牧野ヲ耕シテ	115.8	學校用地トナリテ	8.0
宅地ヲ耕シテ	1.9	道路トナリテ	10.9
沼地ヲ埋立シテ	9.9	河川 ^馬 水路トナリテ	9.1
其ノ他	6.0	焼畑ガ林地トナリテ	14.8
		倉庫類ノ敷地トナリテ	0.2
		其ノ他	131.5

米

昭和十八年ニ於ケル米收穫高ハ 1370.710石ニシテ之ヲ前年收穫高ニ比スレバ 25194石(1分8厘)ノ減收ナリシガ之ヲ前五ケ年平均收穫高ニ比スレバ 13.499石(一分)ノ増加ヲ示セリ蓋シ本年ノ稲作ハ苗代期及移植後ノ天候概ネ曇天勝ナリシガ為其生育軟弱ノ嫌アリシモ八月ニ入ルマ天候適順トナリ高温多照ニ恵マレ生育良好ニ経過セシガ收穫期ノ近ヅク頃ヨリ早冷ニ入りタル關係上熟期ヲ急ゲル為減收ヲ豫想セラレシガ收穫後ノ結果ハ減收率^ノ際外僅少ニ止リタリキ。

尚最近五ケ年間ニ於ケル作付面積及收穫高ヲ掲グレバ次ノ如シ

	作付面積	收穫高	及当收穫高
昭和十三年	63.661町4反	1318.173石	2石070
昭和十四年	63.960.5	1605.184	2.509
昭和十五年	63.895.9	1392.278	2.178
昭和十六年	63.407.8	1074.520	1.694
昭和十七年	62.957.2	1395.904	2.217
前五ケ年平均	63.576.6	1357.212	2.135
昭和十八年	62.658.0	1370.710	2.188

尚本年稻耕作世帯數 120,647戸ニシテ一戸平均、作付面積ハ
2畝收穫高ハノノ石4斗ナリ。

◎麥

昭和十八年ニ於ケル麥收穫高ハ 346,622石ニシテ之ヲ前年收穫高
ニ比スレバ 1,587石(4厘6毛)ノ增收ニシテ更ニ之ヲ前五ヶ年平均
均收穫高ニ比スレバ 37,607石(1割2厘)ノ減收ヲ示セリ蓋シ本年
ノ麥作ハ冬期以來晚春迄寒冷低温ニ過ギ且五月中旬迄旱魃ノ為
榮少ナク生育不良ノ嫌アリシモ五月ニ入り僅少ナル降雨アリテ成
育恢復シタルノミナラズ幸ヒ冷涼ナリシ為病虫害ノ発生モ極メテ
僅少ナリキ。

然ルニ出穂ハ約一週間遅延シ其ノ上六月成熟期ニ入り多雨ニ妨
ラレ登熟充分ナラズ前五ヶ年平均ニ比シ案外ノ減收ヲ見タリ。

次ニ昭和十八年ニ於ケル種別別作付面積並ニ收穫高ヲ示セバ次
如シ

作付面積

總數	29,375町4反	前年ニ比シ(-) 2,115町4反 (6分7厘)
大麥	13,775.2	" (-) 372.4 (2分6厘)
小麥	14,299.8	" (-) 1,779.8 (1割1分)
裸麥	1,300.3	" (+) 37.0 (2分9厘)

實收高

總數	346,622石	前年ニ比シ(+) 1,587石 (4厘6毛)
大麥	191,544	" (-) 6,413 (3分2厘)
小麥	140,640	" (+) 7,898 (5分7厘)
裸麥	14,438	" (+) 102 (7厘)

尚之ヲ前五ヶ年平均實收高ニ比スレバ

總數	(-) 37,607石 (1割2厘)
大麥	(-) 6,836 (3分4厘)
小麥	(-) 31,712 (1割8分4厘)
裸麥	(-) 859 (5分6厘)

甘 藷

作付面積

甘藷ハ米麥ニ次ク戰時下主要食糧トシテ、重要性ニ鑑ミ極力之ガ増産ヲ計ル爲桑園、整理後地利用或ハ不急作物、轉作等ヲ勵行シタル結果其作付面積前年ニ比シ實ニ7/034反(2割8分)ノ擴張ヲ示セリ。

收穫高

多收品種ノ普及、健苗育成並ニ栽培方法ノ改善ニ努力ヲ拂ヒタルト植付後ノ天候ニ恵マレ且發育極メテ良好ナリシ爲前年ニ比シ7792.87貫(9割7分7厘)ノ增收ヲ見タリ尚收穫調査ニ當リテ行ヒタル品種別標準畑ノ結果ヲ示セバ次ノ如シ

品 種	反当實收高
金 時	3 / 7 貫
護 國	4 / 8
沖 繩	5 0 /
本 芋	3 8 /
飯 郷	4 5 /
其 他	3 3 6

◎春植馬鈴薯

作付面積

本年ハ水田裏作トシテ栽培、普及獎勵ニ依リ前年ニ比シ1324反(8分7厘)ノ著増ヲ示セリ。

收穫高

特ニ薄赤、如キ多收品種ノ獎勵ト栽培方法ノ改善ニ努メタル結果前年ニ比シ5/8044貫(2割0分8厘)ノ增收ヲ見タリ。

◎秋植馬鈴薯

作付面積

翌年、増産計畫ニ対比シ種薯輸入困難、事情アルヲ以テ極力之ヲ自給確保ノ策ヲ採リタル關係上其面積前年ニ比シ二町二反(5分5厘)ノ減少ヲ見タリ。

收穫高

收穫高ニ於テハ品種ノ改善ト天候ニ恵マレ前年ニ比シ18.85/百(4割1分4厘)ノ著増ヲ示セリ。

養 蚕 業

◎桑栽培者数及面積

昭和十八年ニ於ケル桑栽培者数及栽培現在面積ハ

栽培者数 7,013戸ニシテ前年ニ比シ 4,625戸(6分1厘)又

栽培現在面積ハ 12,956反ニシテ前年ニ比シ 15,770反(1割0分8厘)

ノ何レモ減少ヲ示セリ。

◎養蚕者數

昭和十八年ニ於ケル養蚕者數ハ春蚕 53,877戸ニシテ前年ニ比シ

867戸即チ1分4厘ノ又夏秋蚕ハ 55,715戸ニシテ前年ニ比シ 3,8

10戸即チ6分4厘ノ何レモ減少ヲ示セリ。

◎掃立卵量

昭和十八年ニ於ケル總掃立卵量ハ 3736,452瓦ニシテ之ヲ前年

ニ比スレバ 221,415瓦即チ(6分2厘9毛)ノ増加ヲ示セリ尚之

ヲ春蚕夏秋蚕別ニ觀レバ次ノ如シ

春 蚕

掃立卵量 1777,091瓦 前年ニ比シ 2,066瓦(1分8厘)ノ増加

夏 秋 蚕

掃立卵量 1959,361瓦 前年ニ比シ 217,349瓦(1割2分6厘)ノ増加

◎收 蒔 高